

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2024」国際交流事業
日本人大学生・大学院生、社会人派遣プログラム
参加者募集

2024年6月

一般財団法人 日本国際協力センター

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）では、対日理解促進交流プログラム「JENESYS」（対象国：ASEAN 諸国および東ティモール）の実施団体として青少年交流事業を企画・運営しています。この度、ASEAN 諸国および東ティモールとの国際交流プログラムにご参加いただける大学生・大学院生、社会人を募集します。

I. プログラム概要

1. 事業概要、目的

(1) 概要

対日理解促進交流プログラムは、日本政府（外務省）が推進する人的交流事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣又はオンライン交流を行うものです。

JENESYS2024 派遣事業は、対日理解促進交流プログラムのうち、アジア大洋州の各国・地域を対象とした事業です。日本と ASEAN 諸国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）および東ティモールの 11 ケ国との間において、将来を担う人材（高校生、大学生・大学院生、社会人等）を 1 年間でおよそ 130 人、原則として 8 日間程度派遣します。

(2) 目的

日本と ASEAN 諸国との間で、対外発信力を有し、かつ将来を担う人材を派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、日本への関心・理解・支持を拡大し、また、日本の外交姿勢や魅力等について、本事業参加者から積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。

2. 派遣国・応募要件等

(1) 応募資格

派遣国に関心があり、日本の魅力を効果的に派遣国の交流者へ伝えることが出来る日本人大学生・大学院生、社会人

(2) 対象国、テーマ、対象者、人数、派遣日程（派遣日程順）

派遣国	テーマ	対象者※	人数	派遣日程
ベトナム	日本語・日本文化交流	大学生・大学院生	10 名	2024/11/19-11/26
	※ベトナム人学生とテーマに沿って積極的に交流できる学生			
東ティモール	ビジネス交流	大学生・大学院生・社会人	5 名	2024/11/19-11/26
	※起業やスタートアップ経験があり、東ティモールの起業家と積極的に交流出来る学生及び社会人分野は「ブルーエコノミー」、「農業」、「伝統工芸（木工）」であればなお良い			
ミャンマー	日本語・日本文化交流	大学生・大学院生	50 名	12/2-12/13 のうち平日 5 日～6 日間
	※詳細は「ミャンマー派遣プログラム」の募集要項にてご確認ください			

ラオス	武道交流	大学生・大学院生	8名	2025/1/21-1/28 または 1/28-2/4
	※柔道・空手道・合気道・剣道のいずれかを得意とし、派遣期間中に実施される「日本武道演武会」で演武を披露いただける学生及びラオスの武道愛好家へ指導できる学生			
カンボジア	日本語・日本文化交流	大学生・大学院生	8名	2024/12/3-12/10
	※将来日本語教師を目指し、カンボジア学生とテーマに沿って積極的に交流できる学生			
マレーシア	日本語・日本文化交流	大学生・大学院生	8名	2025/2 実施予定（確定次第追記）
	※マレーシア人学生とテーマに沿って積極的に交流できる学生			
フィリピン	開発交流	大学生・大学院生	8名	2025/2/25-3/4
	※開発途上国の開発を学び、フィリピン人学生とテーマに沿って積極的に交流できる学生			

※東ティモール派遣のみ、社会人のご応募が可能。

※ラオス派遣については日程が確定していないため、どちらの日程でも参加できる方。

※マレーシア派遣については日程が確定していないため、決まり次第追記予定。

※派遣国の情勢により、日程が多少前後する可能性あり。

(3) 標準日程（詳細は別紙 3 参照）

- ・プレプログラム（各 2 時間～2 時間半程度を予定）
- ・本プログラム（8 日間を予定）※曜日はあくまでも案のため、ずれる可能性あり。

プレプログラム（オンライン）		
1 回目	8 月後半	初回オリエンテーション
2 回目	渡航約 2～3 ヶ月前	派遣国理解講義、テーマ関連講義など
3 回目	渡航約 2 週間前	参加者向け 出発前説明会
本プログラム（派遣国渡航）		
1 日目（火）	国際線出発空港集合、派遣国へ渡航	
2 日目（水）	在派遣国日本国大使館訪問、派遣国関係機関訪問、市内視察等	
3 日目（木）	学校交流①、国際協力機構（JICA）訪問、日系企業訪問等	
4 日目（金）	学校交流②	
5 日目（土）	ホームステイ／ホームビジット	
6 日目（日）	視察・文化体験	
7 日目（月）	報告会、派遣国出発	
8 日目（火）	帰国	

※プレプログラム（オンライン・計 3 回）、本プログラム（渡航・8 日間）全てへの参加が必須。

※プレプログラム 1 回目は 8 月下旬に 11 カ国合同で実施、2 回目以降は国毎に実施予定。

※上記以外にも、適宜、JICE 担当者との打ち合わせを行う可能性があります。

※プログラム内容については、変更が生じる可能性があります。

※全てのプログラムに参加した方には「修了証」をお渡しします。

(4) 実施方法

ブレプログラム：オンラインツール「Zoom」使用

本プログラム：派遣国へ渡航

(5) 参加者必須課題

以下の事前準備、プログラム中の活動、事後活動は全て参加者の必須課題です。

①事前準備

- ・ 派遣国（歴史、文化、社会、政治、経済、宗教、民族等）についての事前学習
- ・ 日本（政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等）や在住地域についての事前学習
- ・ 派遣国でのプレゼンテーションや実演を行う準備
- ・ ブレプログラム、中間ミーティング（準備状況の確認等実施）への参加
- ・ 事前学習に関する SNS 等での発信
- ・ ブレプログラム参加後アンケートの回答

②プログラム中の活動（本プログラム実施中）

- ・ 英語もしくは現地語を用いた日本の魅力についてのプレゼンテーションおよび実演の実施
※学校交流の際、派遣国の学生に日本に興味・関心を持ってもらえるよう、テーマに関する日本の魅力を、パワーポイントを用いたプレゼンテーションと実演で紹介する。（プレゼンテーション・実演を合わせて、1 時間～1 時間半程度で実施）
- ・ プログラム中の体験や日本の魅力を英語や各国言語を使用し、SNS 等で発信（1 日 1 回以上）
- ・ 日本代表の派遣団としての訪問、地域活動への積極的な参加
- ・ 毎日の「気づき」の記録
- ・ ワークショップの実施（プログラム中の気づきの共有とアクション・プラン※の作成、報告会準備）
- ・ 報告会の実施（気づきおよびアクション・プラン※の発表）
- ・ 参加中アンケートの回答

※アクション・プランとは、派遣国での学び・経験をもとに、帰国後、派遣団各々が日本と派遣国との関係継続・向上に資する活動を行う計画のこと。

③事後活動（本プログラム終了後）

- ・ プログラム終了 3 ヶ月後アンケートの回答
- ・ アクション・プラン実施報告書の提出（終了後 3 ヶ月以内に実施）

（アクション・プラン実施例）

- ・ 来日する招へい者との交流を実施
- ・ 高校・付属中学・大学、在住地域等での報告会実施
- ・ 新聞や広報誌へ参加経験、日・派遣国の友好・関係向上に資する展望を寄稿
- ・ 日本の文化や生活（日本への留学・就職情報含む）を英語・現地語で定期的に発信
- ・ 日本語レッスンの開催（オンラインや対面にて）
- ・ 日本料理クラスの開催（オンラインや対面にて）
- ・ オンラインジャパンツアーの開催（日本や在住地域の紹介）
- ・ 日本と派遣国の相互理解のための文化行事の開催 等

(6) 参加者条件

以下項目を全て満たしている者が派遣団選考の対象となります。本事業は、個人単位での受付とします。

- ① 派遣時に正規過程に在籍する大学生・大学院生※1、もしくは社会人。
- ② 本事業の趣旨・目的を理解した上で、事前準備、プログラム中の活動、事後活動を確実に行之、日本の代表としての行動が期待できる者（35歳以下）。
- ③ 日本国籍を有する者。日本に居住する外国籍者の応募については、その旨を要申告。
- ④ 日本政府の実施または推進する派遣事業※2 において参加経験がない者。ただしオンラインプログラム参加者は可。
- ⑤ JICE の安全管理ルール（個人行動・外出禁止、現地法律の厳守等）に従い規律ある団体行動ができ、長時間の移動と多忙なスケジュールに耐えうる体力と精神力を保有し、心身ともに健康である者。
- ⑥ 派遣国で対外発信および意思疎通ができる英語力（目安：TOEIC600 点以上）や派遣国の公用語等の言語能力を有する者※3。
- ⑦ 派遣国・地域に興味・関心・学ぶ意欲を有し、日本と派遣国との交流において積極的に友情を育める者。また、日本の外交姿勢等に関する日本の概要・魅力等を正しく紹介・発信できる者。
- ⑧ 派遣国のテーマについて関わりがあり、効果的に交流・発信できる者。
- ⑨ 後述の「本プログラム参加における責任範囲」、別紙 1 の「個人情報の取り扱い」に同意できる者。
- ⑩ 各国の治安状況に伴い、本プログラムが渡航プログラムからオンラインプログラムへ変更となる可能性もあるが、どちらのプログラムとなっても参加可能な者。

※1 所属大学・大学院発行の在籍証明書を以て、在籍を確認します。

※2 海外渡航プログラム例：対日理解促進交流プログラム（JENESYS、カケハシ・プロジェクト、Juntos!!）、海外留学支援制度、トビタテ！留学 JAPAN（官民協働海外留学支援制度）、内閣府青年国際交流事業等

※3 申込書（エントリーフォーム）に語学力を明記し、英語または派遣国の公用語・母国語の語学力の証明書の写しをご提出いただきます。語学試験類の受験経験はないが相応の語学力を有する場合（例：帰国子女、ESS クラブや英語弁論大会等の実績を有する者等）は、語学力を証明する成績表の写しまたは推薦状にて代替可とします。

II. プログラム費用

1. 本事業の負担

JICE が指定する国際線出発空港（羽田/成田等の国際空港を予定）から派遣国までの往復渡航費、現地滞在中の食費・宿泊費・交通費、旅行傷害保険料、査証申請代金（渡航にあたり査証が必要な国のみ）。

2. 参加者の負担

- ・ パスポート手数料（本プログラムが渡航からオンラインに変更となった場合でも、手数料はご負担いただきます）
- ・ 自宅から JICE が指定する国際線出発・帰着空港（羽田/成田等の国際空港を予定）までの往復交通費
- ・ フライト時間により日本国内の前泊・後泊が必要となる場合の宿泊費、超過荷物輸送料（航空機）
- ・ 現地受入れ先、ホストファミリー等への記念品やお土産代
- ・ プレゼンテーションや実演に必要な資材や移動の経費、ホテル宿泊時に発生する宿泊費以外の個人的経費（インターネット利用料（有料の場合）、電話、クリーニング等）
- ・ 本事業負担の旅行傷害保険とは別に参加者が任意で加入する保険料や予防接種料等
- ・ 参加決定後の自己都合によるキャンセルで発生する費用
- ・ 個人的な買い物や追加の飲食代
- ・ 本事業負担に含まれない費用

【注意事項】

- ・ 出発日から起算して 90 日前からの個人都合による辞退により発生した経費（キャンセル料等）は、ご本人にご負担いただきます。
- ・ 派遣プログラム開始以前に、海外渡航等の諸事情で参加者ご本人と連絡がつかない期間がある場合は、必ず事前に JICE スタッフまで連絡先を通知いただきます。

Ⅲ. 応募方法

1. 応募について

個人単位での受付となります。

(1) 応募締め切り： **2024 年 7 月 21 日（日） 18:00**

(2) 応募方法：

- ・ 以下の申し込みフォームのリンクから必要事項を入力し、送信してください。ミャンマーオンライン派遣プログラムを含め、第 1～3 希望まで選択可能です。
申し込みフォーム： <https://jice.form.kintoneapp.com/public/aseanef-outbound2024>
- ・ 以下の応募時提出書類については上記サイト内にアップロードにてご提出ください。
 - ※ 応募時提出書類に不備がある場合、審査対象外となります。
 - ※ 「在籍証明類」については、参加が決定次第取り付けの上、ご提出をお願いします。応募時には必要ありませんのでご注意下さい。

（応募時提出書類）

- ☐ 顔写真（iPhone の方は拡張子を「.heic」ではなく、JPEG にして提出してください）
- ☐ プログラム中の責任範囲の同意（別紙 2）
- ☐ 個人情報の同意（別紙 2）
- ☐ 事務手続きの協力確認（別紙 2）
- ☐ 日本の魅力を紹介するスライド（別紙 4 資料参照）（※PDF にて提出してください）
- ☐ 英語または派遣国の公用語・母国語の語学力の証明書類：①証明書の写し、または②語学力を証明する成績表の写しまたは推薦状（1 通）
- ☐ パスポート（ご用意が可能な方のみ、提出時点で期限が切れていないもの）

（合格決定後提出）

- ☐ 在籍証明書
- ※ご提出いただいた応募書類は返却しません。当課にて大切に保管します。

2. 選考方法

書類選考・インタビュー

- ※ 応募書類の記載内容について、確認のため、電話またはメールで連絡をする場合があります。
- ※ 書類選考に合格した方のみ、インタビューへ進んでいただきます。
インタビューは7月24日（水）～8月2日（金）の間に、Zoomを使用して実施する予定です。

3. 選考結果通知

選考結果については、本派遣事業に申し込みをした全ての応募者に対してメールにて通知します。
書類選考後の合否メールは7月中旬～下旬、インタビュー後の合否メールは8月上旬を予定しています。

なお、応募者は、選定の理由については不問とし、選考結果については異議を申し立てることができません。

IV. 本プログラム参加における責任範囲

1. 各国の事情等やむを得ない事由により、旅程または宿泊先が変更される場合があります。
2. JICEは、派遣中に派遣団の健康状態や行動等が不適切と判断した場合、プログラム参加を取り消し、帰国を命じる場合があります。参加取り消しによって生じる費用は、当該者に請求する場合があります。
3. 参加者の自己都合による途中合流、滞在期間の延長、途中帰国は原則として認めませんが、それにより個人の費用負担が発生した場合や、第三者（航空会社、ホテル等宿泊施設およびレストランを含む）のいかなる行動または過失、ならびに参加者に対する損害および所持品に対して、JICEは一切の責任を負いません。
4. プログラムは、現地の在外公館等と治安状況を確認・判断の上実施しますが、万が一事故等が起きてしまった場合、所属先（大学、大学院、企業等）へも連絡しますので、所属先へもプログラムへ参加することを事前にご報告ください。
5. 本プログラムへ参加されるにあたり、授業や業務を休む場合の扱いや単位認定については、所属先（大学、大学院、企業等）にご相談の上、ご判断ください。

V. 問い合わせ先

〒163-0716 東京都新宿区西新宿二丁目 7 番 1 号 新宿第一生命ビルディング 16 階

一般財団法人 日本国際協力センター 国際交流部青少年交流課 JENESYS 派遣担当

Email: jenesys-haken@jice.org

※申込に関するお問合せの際は「JENESYS2024 派遣事業」の照会とお申し出ください。

■ 一般財団法人日本国際協力センター（JICE）とは ■

一般財団法人日本国際協力センター(JICE)は、1977 年の設立以来、主に開発途上国を対象とした国際協力事業に関する業務を行ってまいりました。現在は開発途上国を含む世界 145 カ国・地域と我が国との互恵関係の強化に資する事業を通じて、国際社会の発展に寄与することを目的とした事業を行っています。

主な事業は、外務省をはじめとする中央官庁、独立行政法人国際協力機構（JICA）、大学、地方自治体、公益法人、企業、国際機関および外国政府等の国際研修運営、国際交流、留学生受入支援、通訳派遣、日本語研修、コンベンション・セミナー、プロジェクト支援、開発教育支援事業です。

JICE では 329 名の事務スタッフに加え、31 言語に対応した 1,086 名の専門スタッフが、これまでの経験・知見を十分に活かして、各事業の案件形成、調査、研究、実施および評価を行っています。JICE は「知をつなぐ。世界をつなぐ。未来をつなぐ。」をキャッチフレーズに、心と言葉で「日本の技術・知識・経験」をつなぎ、世界の人々と、共に学びあい、理解を深めながら、各国の将来を担う人材育成に取り組んでいます。

2024 年 6 月

参加者の皆様へ

一般財団法人日本国際協力センター
個人情報保護管理責任者（事務局長）

個人情報の取扱いについて

当センターでは、プライバシーマークを取得しており、個人情報の適切な取扱いを期しています。皆様には、下記の事項をご理解いただき、個人情報の提供にご同意いただきますようお願い申し上げます。

今回、以下の業務を目的として、皆様の個人情報を取得しています。それ以外の目的で皆様の個人情報を利用することはありません。

- (1) 本事業にかかる参加調整
- (2) 海外渡航、旅行手続き
- (3) 各種資料やアンケートの送付/回収
- (4) 緊急連絡
- (5) 事業実施報告書や広報媒体（ホームページ、年報、広報誌、SNS アカウント等）への写真掲載
- (6) その他、当センターが実施する国際研修運営や留学生受入れ支援、国際交流、多文化共生、開発教育、コンベンション・セミナー等の事業に関する情報提供やご案内

プログラムの効果的・円滑な実施、ホームステイ・ビジットプログラムの際の適切なマッチング等のため、個人情報の中には、職業、家族構成（ご家族の名前、続柄、年齢、性別、職業/学校名等）、事業実施期間中に当センターまたは第三者が撮影をさせていただく写真・映像も含まれます。

また、当センターが JENESYS2024 プログラムを遂行する上で、下記の条件で皆様からお預かりした個人情報を書面による手交、郵送、FAX またはメールにて提供する場合があります。

	提供する個人情報項目	提供目的	提供先
(1)	氏名、年齢、生年月日、性別、電話番号、メールアドレス、学校名、語学資格/経験、団体活動/国際交流事業/渡航経験、健康状態、応募理由、自己 PR、銀行口座	実施運営上の参加者情報の共有、参加者の選考、アンケートの実施、JICE 事業関連資料の作成	派遣事業実施運営関係機関（外務省、派遣国日本大使館、ASEAN 事務局等）、および実施運営関係者、旅行会社、講師、視察先の企業・団体・交流先の学校関係者、ホストファミリー、印刷関連業者、参加者間
(2)	事業実施期間中に当センターまたは第三者が撮影をさせていただく写真・映像	事業実施後に当センターにて作成を行う実施報告書や当センター広報媒体（ホームページ、Facebook、インスタグラム、年報、広報誌等）、外務省広報媒体への掲載	

当センターへの個人情報の提供は皆様の自由なご判断に任されます。ただし、個人情報の一部を提供していただかない場合は、JENESYS2024 プログラムにおいて適切な判断ができないことがあります。皆様には、当センターに提出していただいた個人情報について、利用目的の通知、個人情報の開示、訂正、項目の追加・削除、また個人情報自体の消去や利用停止、提供停止を求める権利があります。自己の個人情報の開示等の請求を行いたい場合は、下記の問合せ先までご連絡ください。

(個人情報相談窓口) 一般財団法人日本国際協力センター 総務部 個人情報相談窓口

TEL : 03-6838-2702 (平日 9:30~12:30、13:30~17:30) / E-mail : privacy@jice.org

(JENESYS2024 プログラムに関するお問合せ先)

一般財団法人日本国際協力センター 国際交流部 青少年交流課

電話 : 03-6838-2730 (平日 9:30~12:30、13:30~17:30) / E-mail: jenesys-haken@jice.org

対日理解促進交流プログラム JENESYS2024
大学生・大学院生、社会人派遣プログラム同意書

プログラム中の責任範囲の同意

募集要綱に記載の「IV.本プログラム参加における責任範囲」に同意いただける場合は□枠にチェック 図してください。

2024 年 月 日

☐ 同意する

氏名 _____ (印)

※必ずご捺印下さい。

個人情報の同意

別紙1に記載の「個人情報の取り扱い」に同意いただける場合は、□枠にチェック 図してください。

2024 年 月 日

☐ 同意する

氏名 _____ (印)

※必ずご捺印ください。

事務手続きの協力確認

以下をご一読いただき、各項目に同意いただける場合は、□枠にチェック 図してください。

- ☐ 必要書類提出、渡航手続き等の準備は期限内に円滑に行います。（期日までに旅券手配ができず、JICEにて航空券やホテルの予約ができない場合、プログラムの参加をお断りする場合があります。）
- ☐ 事前準備、プログラム中の活動、事後活動は積極的に行い、必要書類は期限内にJICEへ提出します。
- ☐ JICEが定める安全管理（個人行動・外出禁止、現地法律の厳守等）のルールを守ります。
- ☐ 派遣プログラム開始以前に諸事情で連絡がつかない期間がある場合は、JICEスタッフへ報告します。

2024 年 月 日

氏名 _____ (印)

※必ずご捺印ください。

			プログラム	ねらい・内容
オンラインプレプログラム（計3日間、各日2時間～2時間半）				
1回目	全国情合同	2時間半	【オリエンテーション】初回オリエンテーション（JENESYS概要、参加者ミッションの説明他） 【講義】ASEANに関する講義	JENESYSの概要、参加者ミッションを説明し、参加者としての自覚と意欲を高める。派遣国だけでなく、ASEANについて、日ASEANの関係について理解する。
2回目	国毎	2時間	【講義】派遣国・テーマ理解講義	派遣国と日本の関係性やテーマについて理解する。
3回目	国毎	2時間	参加者説明会	プログラム内容の詳細、渡航に関する注意点、プログラムルールについて説明する。
本プログラム（計8日間）				
1日目	火	午前 午後	国際線出発空港集合 出発前オリエンテーション	事業主旨・目的を再確認し、プログラム参加者としての自覚・意欲を高める。 渡航説明、派遣国での安全管理・健康管理について再確認する。
離日（成田/羽田/関西/中部国際空港発）、派遣国へ到着				
2日目	水	午前	【表敬訪問・講義】在派遣国日本国大使館	表敬訪問において日本の代表団としての本事業のミッションを説明し、本プログラムへの参加意欲を高める。派遣国の政治・経済・外交・歴史・文化等を理解し、日本と派遣国の類似点・相違点を考える。各国における日本の位置づけを把握し、以降のプログラムでの交流、「日本の強み・魅力」の発信に役立てる。
			【表敬訪問・派遣国概要紹介】現地関係機関(教育省等) 訪問	
		午後	【交流】JENESYS招へい同窓生との交流	JENESYSの招へいプログラムに参加した同窓生との交流を通して、JENESYS事業としてのネットワークを構築する。
			【視察】市内視察	派遣国の人々の暮らしぶりや社会の現状を参加者自身の眼で確かめ、理解を深める。
3日目	木	午前 午後	【学校交流】 ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・派遣国学生からの派遣国紹介プレゼンテーション ・派遣国学生との意見交換 等	日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等について紹介プレゼンテーションと実演を行い、現地の同世代の学生が日本を理解し、日本の魅力を体感し、日本への関心を持つきっかけ作りを行う。また、現地の学生からも派遣国についてプレゼンテーションをしてもらい、相互理解を深める。そして、両国の関心事項や今後の展望につき意見交換を行い、友情を育む機会とする。
		午後	【講義】【視察】JICA講義・テーマ関連活動	各プログラムのテーマについて発信できるよう、知識を身につける。 国際社会におけるODAの現場（技術協力プロジェクト、ボランティアの活動等）を視察し、関係者や現地の人々との交流を通して、日本の役割、派遣国支援、国際協力の在り方等について考える。
4日目	金	終日	【学校交流】 ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・派遣国学生からの派遣国紹介プレゼンテーション ・派遣国学生との意見交換 等	日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等について紹介プレゼンテーションと実演を行い、現地の同世代の学生が日本を理解し、日本の魅力を体感し、日本への関心を持つきっかけ作りを行う。また、現地の学生からも派遣国についてプレゼンテーションをしてもらい、相互理解を深める。そして、両国の関心事項や今後の展望につき意見交換を行い、友情を育む機会とする。
		午後	【ホストファミリー対面式・ホームステイ】 ※ホームステイの場合	派遣国の家庭訪問を通じて、現地の生活事情を学ぶ。ホストファミリーとの交流を通じて草の根レベルで日本と派遣国との間の信頼関係を築くとともに、日本について紹介し、ホストファミリーや地域の人たちの日本への関心を高めるきっかけをつくる。
5日目	土	終日	【ホームビジット又はホームステイ】	
6日目	日	午前	【視察・文化体験】	派遣国の代表的な歴史/文化遺産や名所の訪問、伝統文化の体験を通じて、派遣国の歴史・文化・社会・人々に対する理解を深め、日本と派遣国との今後の関係/展望について考察する一助とする。
		午後	【ワークショップ】報告会準備（渡航成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）	プログラム中の学びを共有し、アクション・プラン（帰国後の活動案）について話し合いを行い、プログラム関係者に報告する内容をまとめる。
7日目	月	午後	【報告会】渡航成果・帰国後のアクション・プラン発表	プログラム中の学び、アクション・プランについて、日本大使館/派遣国政府/現地交流関係者等へ報告する。（実施言語：英語）
			帰国準備、派遣国を出発	
8日目	火	午前	日本へ帰国、解散	

※プログラムの内容・日数等は変更が生じる可能性があります。

「日本魅力紹介」プレゼンテーション参考資料

(はじめに)
※スライド作成に
あたっての注意点

JENESYSプログラムでは、派遣国の大学訪問時に学生交流を実施します。その際、日本学生から「日本の魅力」を紹介し、日本をより良く知ってもらう機会を設けます。その際、あなたならどんな日本の魅力を紹介したいかをこの参考資料を元に作成し、応募フォームにPDFにて添付の上、ご提出ください。

今回の選考と合格後の自己紹介で使用するためのスライドですので、学生交流時にこのスライドを使用することはありません。

(注意)

- ・スライドデザインは皆さんにお任せします。
- ・応募時はPDFにて提出いただくため動画は入れないでください。

1 枚目
(タイトル)

日本の 「●●●」の魅力について

名前、学校名、学部・学科（専攻）名

2 枚目
(自己紹介)

自己紹介

- ・顔写真（エントリーフォーム以外の写真）
- ・趣味や最近ハマっていることなど
- ・テーマに関連した学びや活動内容
- ・応募動機とプログラムでの個人的目標
- ・その他、伝えたいことがあれば

3 枚目
(日本の魅力
紹介)

タイトルを入れる

- ・写真等を用いて、派遣国で紹介したい日本の魅力を、スライド5枚程度にまとめて下さい。
- ・テーマに関連すること、関連しないこと、どちらでも結構です。